

KYOTO CITY ZOO

[京都市動物園]

動物園だより

2018
No.183
WINTER

題字:京都市長 門川大作



ふらふら、もじもじ、冬の動物の動きの謎を...

冬しか見られない動物の秘密を探そう



ホンドギツネ



ヤブイヌ



ホンドタヌキ

今年が成年!
今年の主役、イヌの仲間たちも
動物園で待っています!



特集

「環境エンリッチメント」ってなあに?
動物たち「が」楽しい動物園



飼育員だより

「老猿ホーム」のアカゲザルたち



今号のPick Up!

動物たちのトレーニングのお話



あのね! どうして!?

「キリンとシマウマはどうして
一緒にいるんですか?」



特集：「環境エンリッチメント」ってなあに？ 動物たち「が」楽しい動物園

動物園の動物たちにとって、快適な暮らしとはどのようなものなのでしょうか？

「動物福祉」の考えのもと、動物の飼育環境を豊かにする試みのことを、「環境エンリッチメント」といいます。

来園者だけでなく、動物にとっても楽しい動物園にするために、京都市動物園で行っている取組の一部を御紹介します。

採食

1

採食エンリッチメント

野生の動物の暮らしは厳しく、食べ物を手に入れるのも一苦労です。一日の大半をかけて採食していることもありますし、丸一日かけても獲物がつかまらないこともあります。



飼育員が隠した骨を一心不乱になって探すアムールトラのオク。

動物園の動物には、栄養バランスのとれたエサが十分用意されます。でも、本来時間をかけて得られるはずのものが、簡単に手に入ってしまったら、それ以外の時間は「ヒマ」になってしまいます。そこで、エサを隠したり、複雑な仕組みの給餌装置を取り入れたり、動物の特性に合わせてエサの与え方を工夫しています。



枝に刺した果物や野菜を手をのばすチンパンジーのジェームス。毎年、参加者をつつてチンパンジーの樹上の採食を再現するイベントを行っています。

食べ物を探し、食べようと試行錯誤をしている間、動物はいきいきとしています。時間はかかっても、自分で食べ物を手に入れる喜びは、なにものにもかえがたいものなのです。

空間

2

空間エンリッチメント

動物たちが本来の身体能力を発揮できるように生活の場を整えるのも、動物たちの楽しい生活のためには大切なことです。

たとえば、ニシゴリラの屋外運動場の天井は格子状で、樹上で暮らす野生ゴリラの行動を引き出せるようになっています。



体重が200kg近いモモタロウですが、軽々とぶら下がって、移動していきます。

ゴリラたちは自然に体をきたえることができ、結果として健康につながります。そして来園者にとっても、ダイナミックに動き回る動物の姿を見られるのは、楽しいものです。



ハンモックなどの遊具で、登ったり飛び降りたり遊んだりできるようにするのも空間エンリッチメントの1つです。新しく設置されたハンモックに興味津々のアカゲザルのココリコ（左）とアオイ（右）。

その他

3

その他のエンリッチメント

京都市動物園では、キリンとシマウマの混合飼育が見られます。これは本来の生態系に近い姿で、お互いの存在がよい刺激になっています。



キリンのメイと、シマウマのナナト。広いグラウンドで、適度に距離をとりながらも、仲良くしています。

動物園での生活は野生に比べると、どうしても単純で単調になりがちです。そこを、飼育員やスタッフが知恵をしばり、動物の個性に合わせて、日々さまざまなエンリッチメントを試みています。



バクのミノリがブイをつついて中の食べ物を出しています。ケガをしないように、子どもは届かない高さになっています。このように、動物がケガをしないように配慮することも大事です。

動物園での生活を少しでも快適にし、動物たちの幸福な暮らしを実現することこそが、環境エンリッチメントの最終目標です。



今号のPick Up! 動物たちのトレーニングのお話



京都市動物園では、アジアゾウ、チンパンジー、ニシゴリラ、キリン、ツシヤママネコなどを対象に、「ハズバンドリートレーニング」をしています。どんな目的で、どんなことをしているのでしょうか。

「ハズバンドリートレーニング」とは、動物たちの健康管理に、動物たち自身が協力してくれるようにするための訓練です。芸を教えこむのとは違い、その目的は、「動物福祉」の考えに基づいた、動物の健康的な飼育にあります。検査や治療などのために、無理やりおさえつけたり、麻酔をかけたりするのは、動物にとって大きなストレスです。抵抗する動物によって、飼育員や獣医師がケガをするおそれもあります。そこで、普段から訓練をして必要な動作を覚えさせることで、動物にも人にも負担なく安全に健

康管理ができるようにしています。動物たちは、棒や声などの指示で、決まった動作をするようにトレーニングをします。そのためには、彼らとの信頼関係はもちろん、科学的な知見が必要となります。ハズバンドリートレーニングは、「環境エンリッチメント」と並び、動物たちのよりよい暮らしのために、欠かせないものとなっています。

重い体重を支えるため、ゾウの足のケアはとて大切で。トレーニングにより、ケガをしても、飼育員の指示に従って、自分から消毒液に足を入れることができます。



きくてい キリンの削蹄トレーニング



キリンがターゲットにタッチすると、飼育員が笛を吹いて、正解だと教えます。



ごほうびをあげます。

その間に、別のスタッフが専用のハサミや、やすりでキリンのひづめを切ったり削ったりします。



トレーニングによって、麻酔をせずに、ひづめを整えることができるようになりました。



飼育員だより 種の保存展示課 伊藤二三夫 「老猿ホーム」のアカゲザルたち



ここは老猿ホームです。

ここで生活しているアカゲザルのインコは今年で39歳になりました。今まではサル島でたくさんの仲間と共に暮らしてきましたが、高齢で移動が困難になり、おいしいものは他のサルたちが先に食べてしまうため残り物を食べていました。このように思うように生活ができなくなったため、老猿ホームにお引っ越ししました。長年生活していたサル島とは違い、ここはバリアフリー構造で、冷暖房も完備されています。また、同じように高齢のアサタロー、妹のビート、仲良しのゴングも一緒に暮らしています。みんな動きが遅く、腰も曲がって、見るからにおじいさんとおばあさんになりました。最初は新しい環境に戸惑っていましたが、少しずつ今の環境にも慣れてきました。ゆっくりと過ごして、長生きしてほしいものです。



あのね! どうして!?



Q キリンとシマウマはどうして一緒にいるんですか?



A 野生でもキリンとシマウマは一緒に暮らしているように、動物園でもお互いにけんかしないようであれば、野生と同じような状態で暮らしている姿を見てもらいたいからです。また一緒にほうがお互いにグラウンドを広く使えるからです。

動物園の「御意見箱」に寄せられた、動物に関するいろいろな質問とその回答を御紹介しています。過去の回答は動物園のホームページや、「図書館カフェ」の動物園コーナー（西側の本棚）にあるファイルでも御覧いただけます。



動物園で楽しい体験，盛りだくさん！ イベントのお知らせ

3/26(月), 4/2(月)
臨時開園しています！

1/20(土)～2/4(日)
動物人気投票
動物の人気投票を
実施します。
結果発表は2/12(月・祝)
です。



1/7(日) 13:30～
2/4(日) 13:30～
6000万年サルの旅
サル類の生態や進化につ
いてわかりやすく解説する
園内ツアーです。



3/11(日)
13:30～
ゾウさんのお宅拝見
普段は入ることのできない
ゾウの寝室をのぞくことが
できます。



3/18(日)
13:30～ / **要整理券**
ロバさんとなかよし
担当飼育員によるロバの話
が聞けるほか，餌やり体験
ができます。



1/28(日), 2/24(土),
3/25(日) / **要事前申し込み**

**夜の図書館
カフェDEトーク**
閉園後の図書館カフェを利
用して様々な話題について
話します。詳しくはホーム
ページを御覧ください。



1/7(日),
2/4(日)
11:00～

いい湯だな～♪
ゾウ温泉

「ひかり・みず・みどりの熱帯動物館」のボイラーで沸かしたお湯をゾウのプールに給湯し，ゾウが温水プールに浸かっている様子を御覧いただけます。



2/11
(日)

要事前申し込み
自然に近い環境になーれ！
ニシゴリラのお庭に木を植えよう

「ゴリラのおうち～樹林のすみか～」のグラウンドに，参加者の方が持参した樹木を御自身で植樹していただくイベントです。樹木は，ニシゴリラが登ったり，種類によっては食べたりします。植樹に適している樹木については，動物園のホームページを御確認ください。



動物園よりお知らせ

誕生しました！



シマウマ「ミント」(オス)

父，ナナトと，母，ミンディーの第一子として誕生しました。10/10撮影

お別れしました



エミュ「リイ」(オス)が死亡

死因は腹膜炎でした。水浴びが大好きで，メスのジニーと一緒によく水浴びをしていました。

11/14



フトウビナケモノ「ほっこり」(メス)が死亡

死因は出血性肺炎でした。名前の通りマイペースな癒し系として親しまれてきました。

動物の移動



フェネック「シエル」(オス)が岐阜大学に里帰りしました。

12/1 ツシヤママネコ「キイチ」(オス)が九十九島動植物園に移動しました。



マンドリル「サマンサ」(メス)が日本平動物園に移動しました。

12/5 ツシヤママネコ「メイ」(メス)が井の頭自然文化園に移動しました。

御支援ありがとうございます。

北村博史様より出口サイン一式，池田泰子様より卓上糸のこ盤1台をいただきました。ありがとうございます。

その他にも楽しいイベントを開催しています！
詳しくはホームページを御覧ください。

京都市動物園 | 検索



京都市
動物園

☎075-771-0210

<http://www5.city.kyoto.jp/zoo/>

開園時間：3月～11月(9:00～17:00)
12月～2月(9:00～16:30)

*入園は閉園時間の30分前まで

入園料：一般600円，団体(30人以上)500円，
中学生以下無料，
年間入園券(一般)2400円

休園日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日が休園になります。)，12月28日～1月1日
交通：京都市営バス 5,100,32系統「岡崎公園 動物園前」下車約2分 / 京都市営バス(京都岡崎ループ)「動物園正門前」下車すぐ / 京都市営地下鉄東西線「蹴上」徒歩約5分・「東山」徒歩約10分



定期購読を希望される方は，82円切手4枚(1年分)を
同封して京都市動物園までお申し込みください。

氏名又は名称：京都市長 門川 大作

事業所の名称：京都市動物園

事業所の所在地：京都市左京区岡崎法勝寺町 22

動物取扱業の種別：

展示 京都市登録第 070051号

販売 京都市登録第 070052号

保管 京都市登録第 170004号

貸出し 京都市登録第 170005号

登録年月日：平成 19年 5月 22日

有効期間の末日：平成 34年 5月 21日

動物取扱責任者氏名：岡橋 要

制作：(株)ベネッセコーポレーション

発行：京都市文化市民局動物園

京都市印刷物第 294805号



※「動物園だより」は京都市動物園提案型サポーターである(株)ベネッセコーポレーションから企画・編集の御支援をいただいています。